学校との協働

チューリップ祭への参加

神戸国際大学

六甲アイランドを美しい街にする会が二〇周年を迎えられますことを心よりお喜び申し上げます。

神戸国際大学は二〇〇二年に六甲アイランドへ移転して以来、あたたかいお声がけによって多くの行事に参加してまいりました。春のチューリップ祭にはアフリカの子供たちを支援するバザーやフェアトレードでの出店、会場テントの設営やオープンカフェの運営、スタンプラリーのお手伝い、そして花後の球根掘りなど、現在も地域で続く恒例の活動・イベントに関わることができて感謝しております。

チューリップ祭への参加は、地域活動の一環という点もさることながら、ご来場のみなさまや子供たちとのふれあいが、学生たちには新鮮な経験となっているようです。大学・自宅・下宿・アルバイトと、時間も空間も限られた毎日を過ごすことが多い学生には、このような活動に参加することは貴重な学びです。

大学に持ち帰った花後のチューリップの球根は、翌年にキャンパスの花壇でたくさんの美しい花を咲かせています。そして、マリンパークを散歩するみなさんが、ちょっと大学の構内に入ってチューリップの花をご覧になるのを見かけては深い感慨をおぼえています。

また、当初のクリーン活動や環境マップの作成に参加した学生は、清掃活動でお住まいのみなさまと一緒に歩きながら、通学路からとは違った六甲アイランドの風景を楽しんでいました。

最近では、学生の国際色が豊かになり、ベトナム、ネパール、インドネシア、カンボジアなどの参加者も増えてきました。彼らも日本人学生と共に花壇の手入れをしたり、着ぐるみでリッくんになってちびっこの人気を集めたり、母国のコーヒーなどを披露しながらみなさまと異なる文化や生活の話しに花を咲かせたりして「神戸国際大学」を実践しています。

これからも、会の活動にはできる限りのお手伝いをさせていただきますので、どうぞよろしく願い致します。

コンポスター改良の取組

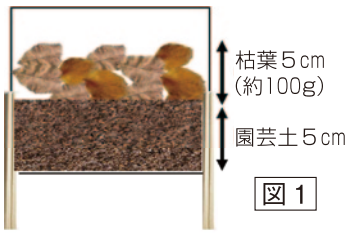

図１

神戸市立六甲アイランド高等学校
自然科学研究部

令和元年度から会の皆さんと本校自然科学研究部がコンポスター改良に向けた研究活動に取り組んでいます。コンポスターとは、枯葉や雑草などの有機物を分解し、堆肥を作る装置のことです。

より有機物が分解し、堆肥ができる条件を明らかにするため、コンポスター内の湿度とかき混ぜ頻度に着目し、研究を進めてきました。湿度は、コンポスターの蓋の有無や材質で調節し、かき混ぜ頻度は３つの頻度を設定しました。詳細は表１の通りです。

表１ コンポスターの条件

No	条件	
1	湿度	蓋なし
2		ビニルシート
3		ゴム板
4	かき混ぜ頻度 蓋は全てビニルシート	毎日
5		３日毎
6		７日毎

11月に、６つの条件に基づいた６つのコンポスターを作製し、本校南庭の土中に約10cmの深さで埋設しました。なお、コンポスターはメダカ用水槽の底を切り抜き、埋まり過ぎ防止のため四隅に割り箸を取り付けました。作製したコンポスターの概要は図１の通りです。

研究の結果、蓋なしのコンポスターで有機物の分解が確認できました。落ち葉が微生物に分解されている様子が確認できました。かき混ぜ頻度については、大きな違いが確認できませんでした。蓋をなくす方が、雨水による適度な湿度が生じ、微生物による分解が促されたと考えられます。蓋をつけたコンポスターは、土が乾燥し、分解には遠い様子でした。

今後は会の皆様からいただいたアドバイスをもとに、コンポスターに異なる数の穴を開け、より細かな湿度を調節できるよう工夫を施し、湿度や酸素濃度を計器で測定しながら、分解を観察していきたいと考えています。今後ともよろしくお願いします。

クリーン作戦

六甲アイランド小学校

本校では、４年生が総合的な学習の一環として毎年、六甲アイランドを美しい街にする会の方々と一緒に月１回、「クリーン作戦」を行ってきました。日頃使っている公園や通学路を中心に清掃活動を行い、自分たちの住んでいる街をきれいにしようと、積極的にごみ拾いに参加しました。活動が終わって学校に戻ってきた子供たちが持っているビニル袋には、空き缶やたばこの吸い殻がたくさん入っています。そして、「何でこんなにたくさんのごみが落ちているんやろう」と言いながら分別していきます。こうした活動を１年間続けた子供たちは、自分たちの住んでいる街の現状やごみを拾ったことできれいな街になったことをうれしく思う気持ちをまとめ、２月に３年生に伝えます。実体験を伴った発表は、聞いている３年生はもちろん、大人たちをもうならせます。この六甲アイランドでこうした活動が脈々と続いていることに、地域の教育力の素晴らしさを感じます。

今年度はコロナウイルス感染拡大防止によって臨時休校が続いたため、活動時間の確保が難しく、クリーン作戦は中止となりました。今後、他教科との連携を通してきれいな六甲アイランドにするための学習を進めてまいります。

サツマイモを育てる会

今年の苗植えは新型コロナ対策のため、７回に分けて行いました。野外料理は中止でした。そのかわり第１グループは畑の畝づくりから参加。みんなで、クワで畝をつくったり、番号札をたてたりしました。苗植えも少人数だったためにしっかり確認ができてよかったのではないかと思います。

ただ残念なのは今年はネキリムシの被害がひどかったこと。でも10月の収穫まで、しっかり世話をして去年のようにたくさんのイモが採れたらと思っています。

ホームページ https://ricpotato2.jimdo.com/

コロナウイルス対応

六甲アイランドを美しい街にする会が３月末に神戸市が企画した「こども屋外活動プログラム」助成を受け地域のこども36名に島内で「自然観察会」を５回実施しました。

新型コロナ騒ぎで突然学校が休校になり、外出するのもむずかしくなった中で、子供達を外で気分転換させていただける屋外イベントに参加しました。休みが続いていたので朝早くから外に出るのは大変でしたが、生活リズムもよくなり、自然とふれあうことでリフレッシュにもなりとてもよかったです。

今まで知らなかった花の名前を覚えたり、絵をかいたり、草ひきのお手伝いをしたり学校ではなかなかできない経験が出来たと思います。（Ｙ・Ａ）

花いっぱい活動に参加して

張　彩虹

ほぼ２年前、息子ＡＤＥＮと共に中国威海から六甲アイランドに来ました。忙しい毎日でしたが、時間を見つけては、アイランド中を散歩しました。すると、今まで気付かなかった植物や花に巡り合えたのです。

それからは夢中で四季の変化、美しさを写真に撮りました。もう何万枚撮った事でしょうか。

美しい街会の花壇には、この頃からよく通いました。

活動に参加した理由は２つありました。一つは、中国の自宅で楽しんでいたガーデニングを日本でも出来ないかと考えたこと。２つ目は、子供にも自然と触れ合いながら、のびのび育ってほしいと思ったからでした。

昨年12月の球根植え体験から、今まで約20回、花いっぱい活動に参加しました。植えた球根が発芽から満開の過程を子供と一緒に観察出来たこと、たくさんの人に出会えたことが、とても幸せだと感じました。

六甲アイランドのくらしの中で、日々、美しく豊かな心で生活できる嬉びを感じていけたらと思います。

2019年度収支決算書

収入の部

科　目	実績額
前年度繰越金	743,286
会費収入	484,500
助成金	75,000
バスツアー	128,750
事業収入	78,600
その他収入	111,671
当期収入小計	878,521
当期収入合計	1,621,807

支出の部

科　目	実績額
花いっぱい活動	400,532
広報活動費	426,508
クリーン活動	115
バスツアー	392,040
こども屋外活動	8,405
活動費	86,672
仮受会費（前年度入金分）	110,500
当期支出合計	1,424,772
次年度繰越金	197,035

2020年度収支予算書

収入の部

科　目	予算額
前年度繰越金	197,035
会員収入	428,000
助成金	73,000
事業収入	40,000
その他収入	70,000
当期収入小計	611,000
当期収入合計	808,035

支出の部

科　目	予算額
花いっぱい活動	170,000
広報活動費	300,000
クリーン活動	10,000
こども屋外活動	48,000
20周年記念事業	100,000
活動費	80,000
仮受会費（前年度入金分）	86,500
当期支出合計	794,500
次年度繰越金	13,535

「あなたの思いやり」で当会をご支援ください

ダイエー黄色いレシートキャンペーン

グルメシティ六甲アイランド店では、毎月11日は買物されたレシートが黄色いレシートとなっています。このレシートをレジを出たところにある“投函ボックス”（当会ボックス）に入れてください。投入レシートの１％の金額が当会に寄贈され花の種や肥料、ごみ袋等を購入させていただいています。

どうか忘れずに黄色いレシートを当会ボックスに入れてください。（家族やお知り合いの方々にもご協力をお願いいたします。）

六甲アイランドを美しい街にする会

世話人紹介

米谷　稔（W6）代表・環境学習
梅崎俊文（E6）会計
蓮本正明（E10）クリーン活動・広報
田中敬三（W6）花いっぱい・広報
山本一清（W6）広報
細川智子（E4）花いっぱい・企画
塩谷敏男（E4）会計監査